



TOPICS
03

2023年上半期の木材輸入実績



2022年上半期（1～6月）は、低迷する住宅需要の影響を受けて、製材や合板などの建築用木材の輸入量が軒並み減少した一方で、バイオマスエネルギー用の木質ペレットの輸入量が増加しました。本稿では、2023年上半期における木材輸入の実績を輸入額と品目別輸入量に着目して紹介します。

① 木材輸入額

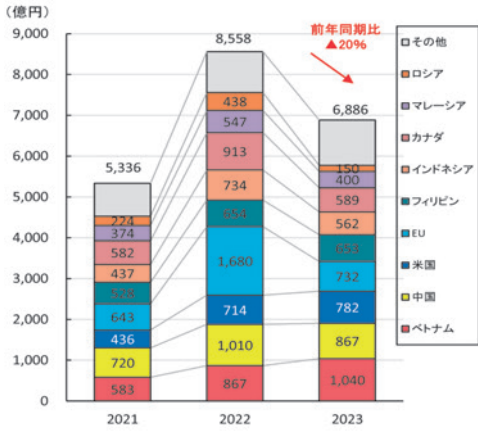
本年上半期（累計、以下同）の木材（HS 44類）輸入額は、前年同期比20%減の6,886億円でした。国別に見ると、中国が同14%減、EUが同56%減、インドネシアが同24%減、カナダが同35%減、マレーシアが同27%減、ロシアが同66%減となりました。その一方で、ベトナムは同20%増、米

国が同10%増となりました（図1）。

国内の住宅需要が低迷していることから、製材や集成材、合板の輸入量が減少したことが輸入額の減少に影響しました。その中で、ベトナムは木質ペレットの輸入量が増加していることなどが影響し、輸入額では1位となりました。

51%減の23・8万³m³となりました（図2）。

図1 2021年～2023年の上半期における木材輸入額



② 丸太

丸太輸入量は、前年同期比24%減の107・0万³m³でした。国別に見ると、米国が同26%減の63・6万³m³、カナダが同27%減の27・6万³m³、NZは同6%減の12・8万³m³となりました（図2）。

③ 製材

製材輸入量は、前年同期比42%減の158・2万³m³でした。国別に見ると、カナダが同36%減の34・0万³m³、EUが同43%減の78・1万³m³、ロシアが同

図2 2021年～2023年の上半期における品目別木材輸入量

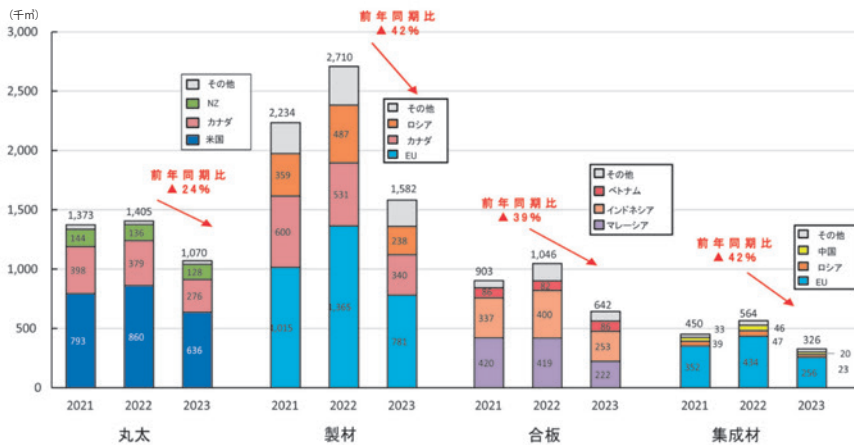
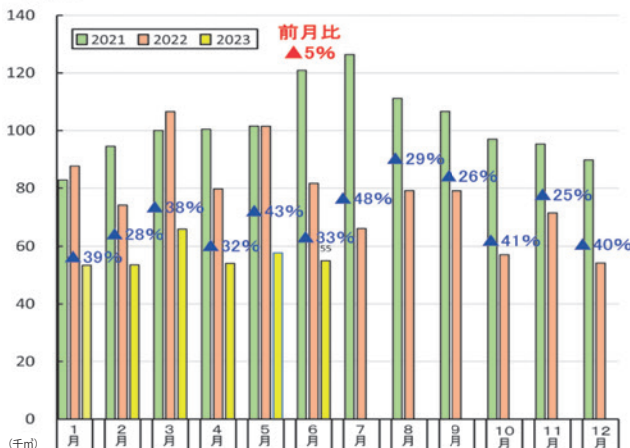


図3 カナダからの月別製材輸入量



各国の輸入量を月別に見ると、カナダは、昨年夏以降、前年同月比減が続いています。EUも昨年11月以降、さらに、ロシアも昨年8月以降、前年同月比減が続いています。（図3、4、5）。

※グラフは全て、財務省「貿易統計」から作成。

https://www.rinya.maff.go.jp/j/poutai/yunyu/boueki.html



※ 毎月の木材輸入実績は、翌々月の上旬に林野庁ウェブサイトに掲載しておりますので、是非御活用下さい。



図5 ロシアからの月別製材輸入量

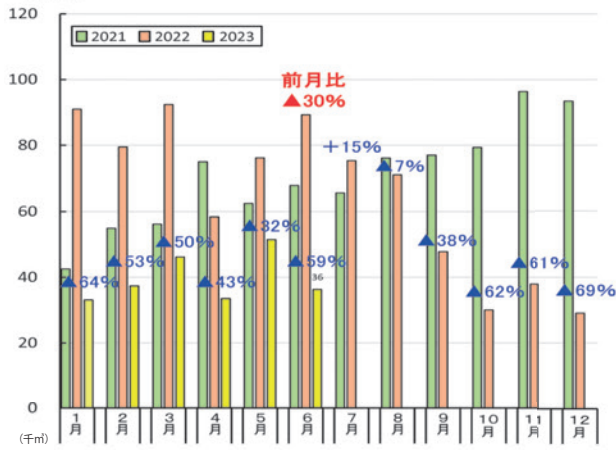


図4 EUからの月別製材輸入量

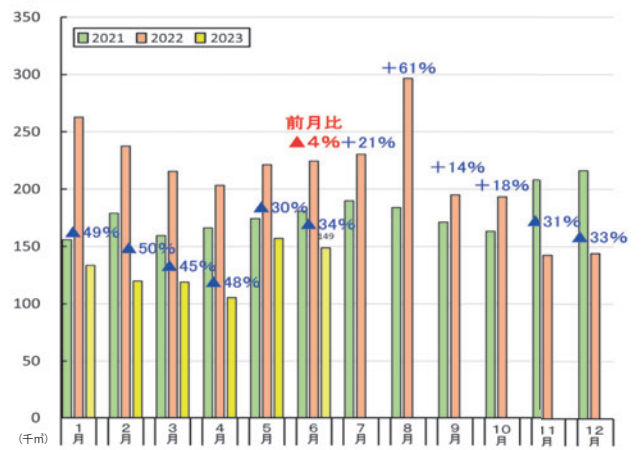
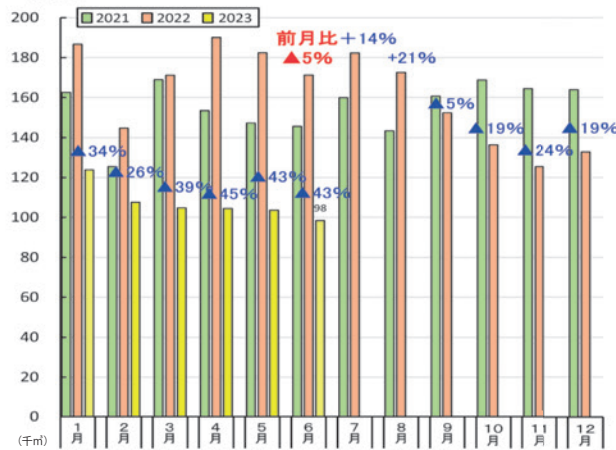


図6 合板の輸入量



4 合板

合板輸入量は、前年同期比39%減の64・2万m³でした。国別に見ると、マレーシアは同47%減の22・2万m³、インドネシアは同37%減の25・3万m³になりました(図2)。合板も昨年9月以降、前年同月比で減少が続いています(図6)。

5 集成材

本集成材輸入量は、前年同期比42%減の32・6万m³となりました。国別に見ると、EUが同41%減の25・6万m³で、全体の79%を占めています(図2)。このうち構造用集成材も同様に、輸入量は同43%減の28・1万m³、そのうちEUが同41%減の25・0万m³となりました。EUからの輸入量を月別に見ると、昨年11月から前年同月比で減少が続いています(図7)。

図7 EUからの月別集成材輸入量

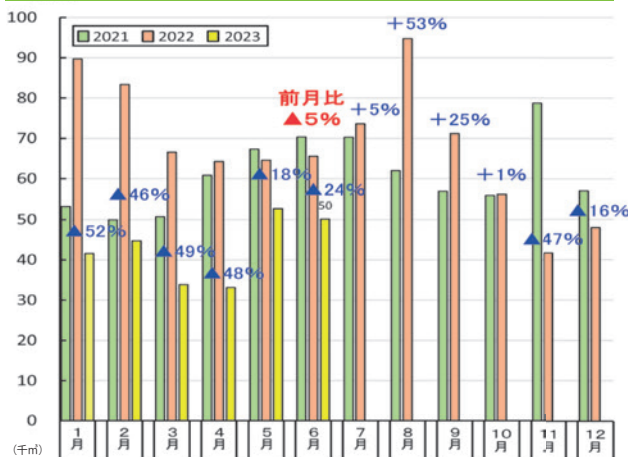
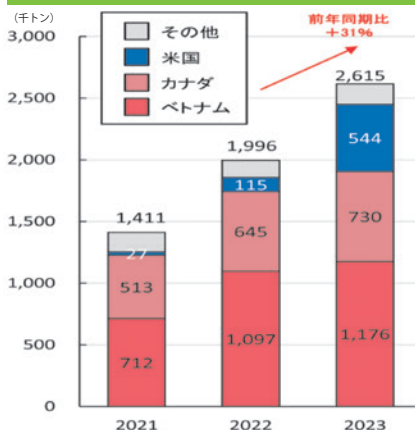


図8 2021年～2023年の上半期における木質ペレット輸入量



6 木質ペレット

丸太、製材、集成材、合板等の輸入量が軒並み減少する一方で、木質ペレットの輸入量は前年同期比31%増となりました。木質ペレットの主要な輸入国はベトナム(45%)、カナダ(28%)です。また、今年は米国からの輸入量が同473%増と急増しました(図8)。

おわりに

昨年は住宅需要が低迷し、輸入材の国内在庫が著しく増加しました。このため、昨年の後半ごろから、輸入量の減少傾向が続いています。

林野庁では、今後も引き続き、木材輸入の動向を注視し、関係する情報を積極的に公表してまいります。